

経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」の策定について

グループ経営理念の実現とさらなる事業成長を遂げるため、2026年度までに取り組むべき方向性を示した経営ビジョンを策定いたしました。「社会・地域」「経済」「環境」の3つの軸を経営判断に取り入れ、事業を峻別し、次の100年に向け地域価値創造型企業へと事業モデルの更新を進めてまいります。

グループ
経営理念

経営理念

小田急グループは、お客さまの「かけがえのない時間」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献します。

行動指針

私たちは、経営理念の実現のため、3つの精神を忘れることなくお客さまに「上質と感動」を提供します。
『真摯』『進取』『融和』

経営ビジョン
UPDATE 小田急

～地域価値創造型企業に
むけて～

2027年までに
100年続いてきた
事業モデルを更新する

「地域価値創造型企業にむけて」

私たちは、小田急沿線や事業を展開する地域とともに成長するために、
既成概念に捉われず常に挑戦を続けることで、お客さまの体験や環境負荷の低減など
地域に新しい価値を創造していく企業に進化します。

未来フィールド

将来自らが地域や顧客に提供していきたい価値

体質変革期(2021年度～2023年度)

飛躍期(2024年度～2026年度)

飛躍期に向けて ①3つの経営課題 と ②3つの発想
を通じた事業の変革に取り組み、経営状況の回復を
図るとともに、既存のビジネスモデルを見直します。

未来の小田急の持続的な成長につながる事業創造や
拡大を進め、地域価値創造型企業として次の100年
を歩むため、新たな価値を生み出します。

中期経営計画

2021年度からの3カ年に実施する具体的施策

体質変革期

(2021年度～2023年度)

① 変革にむけた
3つの経営課題

② 3つの発想を通じた
事業の変革

『利益水準の回復』『有利子負債のコントロール』『事業ポートフォリオの再構築』

※財務健全性回復の目安として、2023年度における有利子負債残高7,000億円、有利子負債/EBITDA倍率7倍台を目指します。

『DX発想』『共創発想』『ローカライズ発想』

「未来フィールド」に基づく具体的な取り組み

モビリティ × 安心・快適

- 安全性と収益性を両立した事業モデルを構築するとともに、事業環境変化を捉えた新たな提供価値を創出いたします。
- 顧客接点を、駅を起点としたリアルから、スマートフォン等を起点としたデジタルへシフトするとともに、MaaSを通じた地域の活性化、新しい価値の提案を行うことで、輸送サービスをフックに地域価値を創造いたします。

まちづくり × 愛着

- 複数の機能を融合させ、職、住、商、学・遊に対応した開発を各地域で進め、人々の様々なニーズや変化に柔軟に応えるまちづくりを行います。
- 従来の自社用地開発だけでなく、生活様式の変化に合わせた開発・運用手法の多様化により、開発機会を増やすとともに、収支構造改革を進め、収益を拡大いたします。
- テクノロジーの活用等により、地域の課題を解決する新しいまちづくり事業を多面的に推進いたします。

くらし × 楽しさ

- 新規コンテンツの創造や地域の取組みとの関係性強化を図り、地域への誘客とまちの賑わいを創出いたします。
- デジタルマーケティングの強化を通じて多様化する顧客ニーズを捉えるとともに、リアルとデジタルを融合したサービスを提供いたします。

観光 × 経験

- 箱根・江の島・大山エリアにおける多様な価値提案を通じた新規需要開拓を進めるとともに、新たな観光体験の創出に取り組みます。
- 観光シーンのDXを推進し、顧客の利便性向上を図るとともに、インバウンド回復期を見据えた需要創出策を推進いたします。

わくわく × イノベーション

- 未来にむけた地域の価値を生み出す「価値創造型人材」育成のため、制度や風土、価値観を変革いたします。
- 事業アイデア公募制度「climbers」により、新たなチャレンジを推進いたします。